

岐阜市の一体的実施

平成24年4月2日事業開始

市とハローワークが連携して、市役所福祉事務所生活福祉課内のはたらき支援ルームにて職業紹介等を実施。

市

市役所庁舎内の提供

国

職業紹介・職業相談の実施等



① 事業内容

- ・就職支援ナビゲーターより、市役所福祉事務所生活福祉課内のはたらき支援ルームで生活困窮者に対して求人情報の提供、職業相談や職業紹介を実施

② 協定・事業計画

- ・岐阜市長と岐阜労働局長の間で協定(*)を締結
- ・数値目標を盛り込んだ事業計画を岐阜市と岐阜労働局の間で策定

* 協定の実施等について相互に要望することができ、出された要望には誠実に対応する旨を規定。



この協定の締結により、生活困窮者の早期就職に向けた就労支援の強化・充実が図られ、自立への支援の一層の強化と利便性向上を実施。

(1) 実施体制

岐阜市

- ・ 面接相談員、就労支援員、キャリアカウンセラー、ケースワーカーを配置

国(ハローワーク岐阜)

- ・ 就職支援ナビゲーター2名を配置
- ・ 求人情報提供用のパソコン1台を配置

(2) 事業目標と取組状況(7年度)

事業内容	事業目標(年度)	取組状況 (令和7年8月末時点)
生活困窮者に対して求人情報の提供、職業相談、職業紹介等の実施	利用者数 2,000名 支援対象者数 180名 就職者数 231名 就職率 41.3% (参考)前年度目標 ・利用者数 2,000名 ・支援対象者数 180名 ・就職者数 258名 ・就職率 36.7%	利用者数 796名 支援対象者数 76名 就職者数 96名 就職率 18.4% (参考)前年同月実績 ・利用者数 547名 ・支援対象者数 55名 ・就職者数 98名 ・就職率 18.2%

一体的実施事業（岐阜市）による就職成功例

男性：40代 ・希望職種：未定

① 求職者の課題

・他県で飲食店を自営していたがR4年8月に廃業。家賃滞納分など借金があるも夜逃げ状態で名古屋へ。そこでR6年4月に窃盗で逮捕され、その際知った支援団体を頼り岐阜へ。生保開始はR6年8月から。

② 紹介の経過

・髪は長髪で服装も自由な印象、就活するにあたり髪を切る気はないと言う。また、飲食関係の経験が長いため固定観念が強く、その職種で雇用されるは嫌がり、運転免許もない。大都市ではないので、そういった求職者を受容する事業所は少なく、他の阻害要因も含め就活は難航が予想された。そのため、自分が出来る仕事とやりたい仕事を分けることから始め、これから自分がどうありたいのか考えながら、本人が知らなかった職種を見せ検討を重ねていくことで、抱えている問題を1つ1つ解決した先には、新しい世界が広がっていくイメージを描くことで、未経験職種にもチャレンジする気持ちに繋がっていった。

③ 結果

・紹介就職 パート ホテルの客室清掃

④ 職業相談員の所感

・自営していた飲食店は新型コロナウイルスの影響で客足が途絶えてしまう。そのため新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金など受給しながら継続を模索したが、結局上述のような結果になってしまっている。その後は県外へ転出し生保受給、自己破産、精神科通院というパターン。こういった場合、その状態から抜け出せず、そのままの状態が続いてしまうケースが多く見受けられるが、今回の事例では、支援団体など福祉の手が早期に入ったことで、問題解決の道筋を示し寄り添い続けたことで、再び人生をやり直そうという気持ちに結び付いていった。

⑤ 本人のコメント

・「未経験職種でもあるので、まずはパートから開始し、様子を見ながらフルタイムへの移行も考えていきたい」と報告に来所。